

2025 年 10 月 31 日
株式会社三菱 UFJ 銀行

ブラジル連邦共和国 ALBRAS 向け融資契約を締結

株式会社三菱 UFJ 銀行(取締役頭取執行役員 半沢 淳一、以下 三菱 UFJ 銀行)は ALBRAS – Alumínio Brasileiro S.A. (以下、ALBRAS)との間で、低炭素アルミニウムの生産量維持に係る設備投資を目的とし、株式会社国際協力銀行(以下、JBIC)との協調融資契約(以下、本融資契約)を締結しました。尚、本融資契約にあたっては、弊行融資部分において株式会社日本貿易保険(以下、NEXI)にて保険が付保されます。

本融資契約に先立ち、2025 年 3 月、石破内閣総理大臣(調印時)及びルーラ・ブラジル大統領ご臨席の下、ALBRAS、日本アマゾンアルミニウム株式会社(以下、NAAC)、JBIC、NEXI 及び三菱 UFJ 銀行は低炭素アルミニウム分野のサプライチェーン強靱化に向けた協力覚書を発表しており、本融資契約は当該覚書を踏まえたものとなります。

(ご参考:[2025 年 4 月 17 日付 お知らせ](#))

ALBRAS は 1985 年以降 40 年にわたり、ブラジル連邦共和国パラ州において水力・再生可能エネルギー電源を利用した低炭素アルミニウムを生産しており、年間生産能力 45 万トンの設備が稼働しています。ALBRAS 株式 49%を保有する NAAC を通じて、生産物の一部を日本向けに供給しており、日本のアルミニウム地金の年間輸入量の約 16%を占めます。

今般、ALBRAS へ供与される資金は生産量維持を目的とした設備老朽化対策等の投資に充てられ、日本にとって戦略的に重要である低炭素アルミニウムの継続的な安定供給を確保する上で重要な意味を持つほか、これを引き取る本邦企業の脱炭素化推進への寄与も期待されます。

三菱 UFJ 銀行は、今後も我が国の資源エネルギーの安定供給確保や、本邦企業のカーボンニュートラルの実現に向けた取組を積極的に支援してまいります。

以上